

天球儀	コペルニクス生誕550年	須藤靖	461
シリーズ：天文学者たちの昭和	佐藤文隆氏ロングインタビュー 第6回：素粒子と宇宙	高橋慶太郎	469
追悼	堀源一郎先生 日江井榮二郎・湯淺學・吉田春夫・吉川真・伊藤孝士・木下宙・田中済		480
雑報	日本天文学会早川幸男基金による渡航報告書 <i>Polarisation Sky Survey of the Universe's Magnetism (POSSUM)</i>	藏原昂平	491
	日本天文学会早川幸男基金による渡航報告書 <i>Linking the Galactic and Extragalactic, Stellar Dynamics and Stellar Populations of the Milky Way and Its Siblings</i>	舩越菜月	493
月報だより			494

【表紙画像説明】

オルシュティン城の入口近くにあるコペルニクスの銅像。トルンに生まれたコペルニクスは、イタリアの留学から帰国後、主としてフロンボルクに住みそこで生涯を終えた。ただし1516年11月から1521年11月までは、ドイツ騎士団の侵攻から逃れ、オルシュティンで聖職禄の管理を行った。彼は、その仕事を通じて騎士団が劣悪銀貨を鑄造し直して儲けていたことを知り、論文『貨幣鑄造の方法』において、「悪貨は良貨を駆逐する」という法則をグレシャムより30年以上早く提唱した。

【今月の表紙デザイン】

「月」

光り輝く星に近づくと、小さな惑星と、さらに小さな衛星が沢山あった。
中でも興味を引いたのは、光を反射して銀色に輝く衛星だ。
地表はしんと静まり穏やかで、どこか「うさぎ」たちの星と似ていた。